

**第2期庄内北部定住自立圏共生ビジョン
令和2年度→令和6年度**

令和2年3月

酒田市

目次

1 定住自立圏および市町の名称

- (1) 定住自立圏の名称 1
- (2) 圏域を形成する市町（構成市町）の名称 1

2 定住自立圏共生ビジョン

- (1) 目的 1
- (2) これまでの取り組み 1
- (3) 期間 1

3 定住自立圏の将来像

- (1) 圏域の位置・状況 2
- (2) 構成市町の概況 2
- (3) 圏域の人口 3
 - ①人口の推移 3
 - ②年齢別人口割合の推移 4
 - ③圏域内の通勤通学者の動向 4
- (4) 圏域の将来像 5
- (5) 圏域の役割 5
 - ①酒田市 5
 - ②連携する三川町・庄内町・遊佐町 5

4 定住自立圏における取り組み一覧

- (1) 第1期（平成27年度～令和元年度）の総括 6
- (2) 第2期（令和2年度～令和6年度）の取り組み 7

5 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取り組み内容

- (1) 生活機能の強化に係る政策分野 8
 - 医療 8
 - 福祉 14
 - 教育 19
 - 産業 24
 - その他 34
- (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野 40
 - 交通インフラの整備 40
 - 地域公共交通 43
 - その他 44
- (3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 45
 - 圏域内市町職員等の交流 45

6 定住自立圏形成協定一覧

..... 46

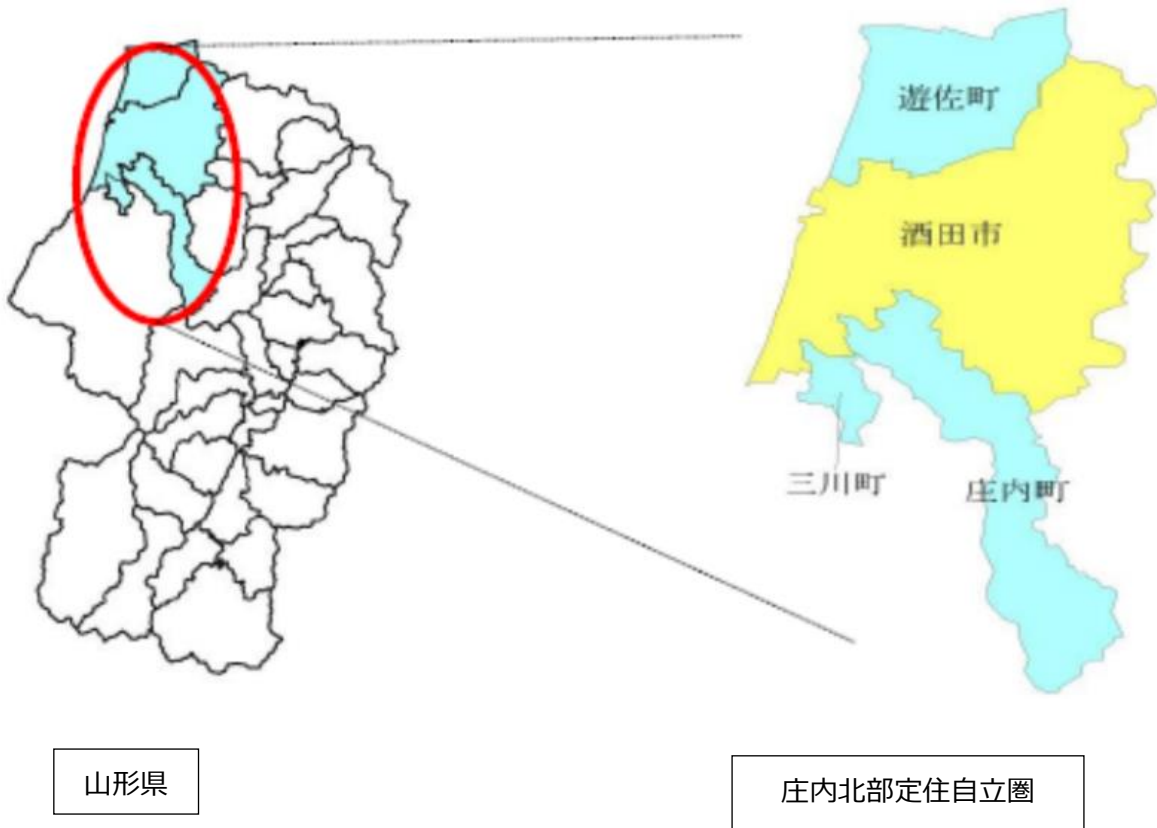
1 定住自立圏および市町の名称

(1) 定住自立圏の名称

庄内北部定住自立圏

(2) 圏域を形成する市町（構成市町）の名称

酒田市、三川町、庄内町、遊佐町



2 定住自立圏共生ビジョン

(1) 目的

酒田市、三川町、庄内町および遊佐町が相互に役割を分担し、圏域に必要な都市機能および生活機能を確保し、安心して暮らせる定住自立圏を形成することを目的とする。

(2) これまでの取り組み

平成26年 3月14日	酒田市が中心市宣言を実施
平成26年12月26日	酒田市と三川町、庄内町、遊佐町が定住自立圏形成協定を締結
平成27年 3月30日	庄内北部定住自立圏共生ビジョンを策定 (計画期間：平成27年度～令和元年度)
令和 2年 3月19日	酒田市と三川町、庄内町、遊佐町が変更協定を締結
令和 2年 3月31日	第2期庄内北部定住自立圏共生ビジョンを策定

(3) 期間

第2期庄内北部定住自立圏共生ビジョン計画期間 令和2年度～令和6年度（5年間）

3 定住自立圏の将来像

(1) 圏域の位置・状況

本圏域は、山形県庄内地方の北部、中央部に位置しており、西側が日本海に面し、広大な庄内平野を中心とし、北側には烏海山、東側に出羽丘陵を配し、その中を山形県の母なる川最上川が貫流し日本海へと注いでいる。

圏域内には、山形県唯一の重要港湾である酒田港があり、空路は庄内空港があり、羽田線1日4往復8便、成田線1日1往復2便が就航している。高速道路網は、日本海沿岸東北自動車道、東北横断自動車道酒田線、地域高規格道路新庄酒田道路の整備が進められ、早期の完成が期待されている。鉄路に関しては、日本海を縦軸で結ぶ羽越本線、山形県内陸部との横軸である陸羽西線があり、山形新幹線の庄内延伸など鉄道的高速化が求められている。

三川町、庄内町、遊佐町は、酒田市を包み込むような位置関係から、通勤・通学、買い物、通院など住民の生活に密着した日常生活行動は行政区域を越え、本市を中心として相互に深く関わり合う圏域を形成している。これまでもごみ処理や救急・消防業務については、一部事務組合による業務の展開、また、各般の行政事務においても課題を共有し、多様な連携を図ってきた。

(2) 構成市町の概況

酒田市

酒田市は、山形県の北西部に位置し、最上川が日本海と出会う港町である。背後には庄内平野が広がり、冬の季節風は強いものの、対馬暖流の影響を受けた温暖湿潤な気候が、わが国有数の穀倉地帯を形成している。酒田港から北西約39キロメートルの日本海上には、山形県唯一の離島である飛島があり、秋田との県境にそびえる烏海山とともに平成28年に日本ジオパークに認定されている。平成17年11月1日、酒田市、八幡町、松山町、平田町が合併し、新「酒田市」として誕生。豊かな自然と長い歴史に刻まれた文化を大切にしつつ、重要港湾酒田港を中心とした交流都市として発展を続けている。

現在は、「賑わいも暮らしも共に創る公益のまち酒田」を目指すまちの姿とし、社会変化によって発生する様々な地域課題を、市民と行政が協働し、共に解決にむけて取り組む風土をつくるため、人財づくりを計画の要とした「酒田市総合計画」のもと、まちづくりを進めている。

三川町

三川町は、庄内平野のほぼ中央に位置し、豊かな田園と赤川・藤島川・大山川の3つの川に象徴される自然豊かな町である。町の中央を3つの川が流れ、この三川(さんせん)による豊かな水は大地を潤し、全国でも有数の穀倉地帯を誇っている。また、国道7号三川バイパスなどの主要国・県道が町内を縦横断し、庄内空港や高速道路までのアクセスの利便性も高いことから、庄内地方の交通の要衝として、行政・産業・経済等の中枢機能が集積する町として大きな役割を担っている。

まちづくりの主役は、そこに暮らす町民一人ひとりであり、ここに住む全ての人々が、この町に誇りを持ち、自助・共助・公助による協働のまちづくりを推進し、快適で利便性の高い生活をおくることができるようまちづくりを進め、魅力あふれる三川町として未来に引き継いでいくことを目指して施策を展開している。

庄内町

庄内町は、余目町と立川町の合併により、平成の大合併としては県内で初めての自治体として、平成17年7月1日に誕生した。地理的には庄内地域のほぼ中央に位置する交通の要衝であり、今後は最上地域と庄内地域を結ぶ高速交通網の整備も期待されている。

霊峰月山の頂を有し、清流立谷沢川と最上川、そしてその恩恵を預かる肥沃な田園地帯を抱えた豊かな自然に恵まれた地域であり、風力発電事業をはじめとした自然エネルギーの利活用等、地域資源を活かし自然と調和した取り組みを展開している。

現在は、「子育て応援日本一の町づくり宣言」によるきめ細やかな子育て支援策や、若者の定住促進施策を充実させるとともに、産業振興、高齢者福祉および教育施策の充実を図り、「日本一住みやすく住みつけたい町」の実現に向けたまちづくりを進めている。

遊佐町

遊佐町は、山形県の最北端に位置し、西は庄内砂丘を隔て日本海に臨み、北は鳥海山を境に秋田県に接し、東は出羽丘陵に囲まれ、南は酒田市に接している。町を国道7号、345号線が縦貫し、現在、日本海沿岸東北自動車道の整備が進められている。

恵みの多い鳥海山と日本海と月光川の清流にはぐくまれ、創造性豊かな歴史と文化を持つ田園のまちで、平成30年11月には「遊佐の小正月行事（アマハゲ）」がユネスコ無形文化遺産に登録されている。それらの魅力を活かし観光、移住・定住施策を積極的に進めている。

現在は、「遊佐町総合発展計画」（第8次遊佐町振興計画）の実現にむけ“オール遊佐の英知（町民力）を結集”して取り組むことを基本に、3つの将来像「子どもたちに夢を」「いきいきゆざの構築」「鳥海山との共生」の具現化を図っている。若者から選んでもらえる町、住んで良かったと実感できる町にするため、地域の個性を磨き、広域連携および交流促進、町民との協働により、少子化・高齢化・人口減少などの諸課題に取り組んでいる。

(3) 圏域の人口

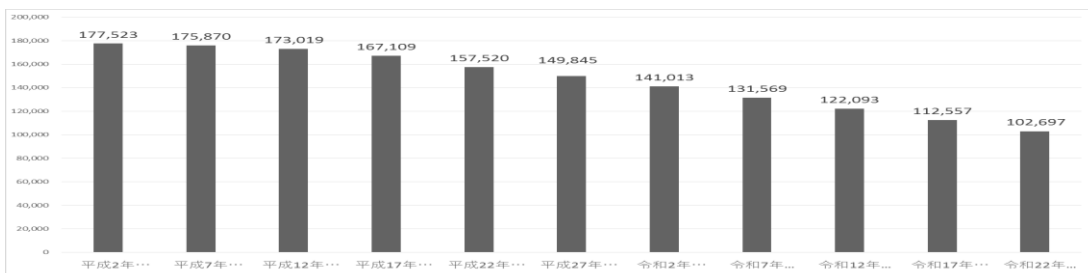
①人口の推移

国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）によると、平成27（2015）年の圏域人口149,845人が、令和22（2040）年には、102,697人と3割以上減少すると推計されている。

【圏域人口の推移・推計（単位：人、下段は増減率）】

	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	令和2年 (2020)	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)
酒田市	122,850	122,536	121,614	117,577	111,151	106,244	100,398	94,214	87,891	81,401	74,618
		-0.26%	-0.75%	-3.32%	-5.47%	-4.41%	-5.50%	-6.16%	-6.71%	-7.38%	-8.33%
三川町	8,263	8,188	7,879	8,003	7,731	7,728	7,603	7,168	6,745	6,321	5,869
		-0.91%	-3.77%	1.57%	-3.40%	-0.04%	-1.62%	-5.72%	-5.90%	-6.29%	-7.15%
庄内町	26,705	26,251	25,489	24,677	23,158	21,666	20,113	18,560	17,049	15,588	14,121
		-1.70%	-2.90%	-3.19%	-6.16%	-6.44%	-7.17%	-7.72%	-8.14%	-8.57%	-9.41%
遊佐町	19,705	18,895	18,037	16,852	15,480	14,207	12,899	11,627	10,408	9,247	8,089
		-4.11%	-4.54%	-6.57%	-8.14%	-8.22%	-9.21%	-9.86%	-10.48%	-11.15%	-12.52%
圏域の合計	177,523	175,870	173,019	167,109	157,520	149,845	141,013	131,569	122,093	112,557	102,697
		-0.93%	-1.62%	-3.42%	-5.74%	-4.87%	-5.89%	-6.70%	-7.20%	-7.81%	-8.76%
山形県の人口	1,258,390	1,256,958	1,244,147	1,216,181	1,168,924	1,123,891	1,072,473	1,015,910	957,314	897,075	833,844
圏域の割合	14.11%	13.99%	13.91%	13.74%	13.48%	13.33%	13.15%	12.95%	12.75%	12.55%	12.32%

資料：平成27年までは国勢調査、推計人口は国立社会保障・人口問題研究所



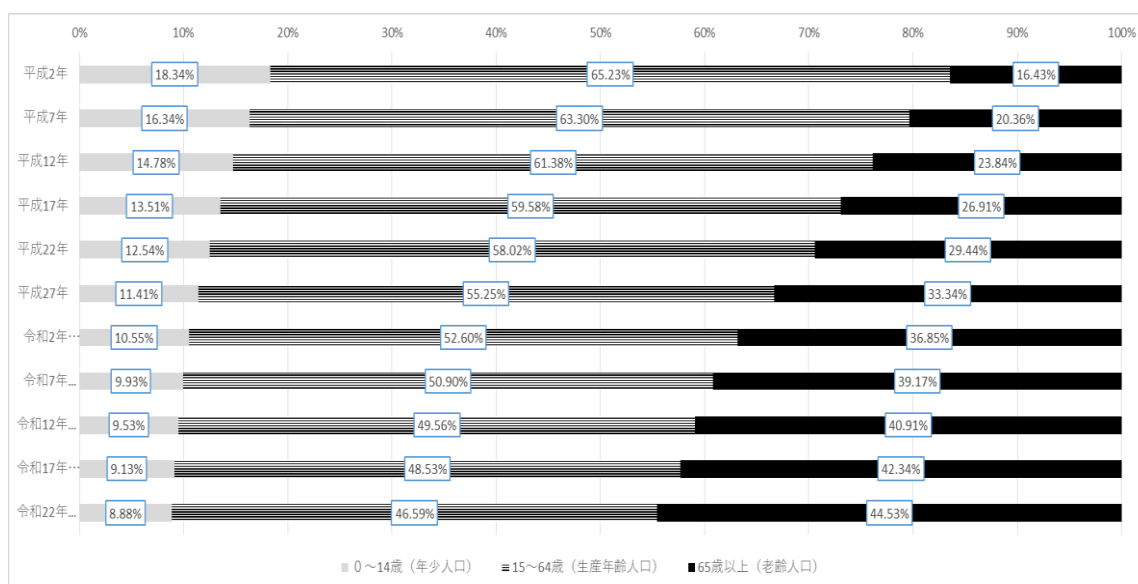
②年齢別人口割合の推移

高齢人口（65歳以上）の圏域人口割合は、平成27(2015)年に33.34%であったが、令和22(2040)年には44.53%になると推計されている。

年少人口（0～14歳）の圏域人口割合は、平成27(2015)年に11.41%であったが、令和22(2040)年には8.88%になると推計されている。

【年齢別人口割合の推移・推計：上段は年少人口（0～14歳）、下段は高齢人口（65歳以上）】

	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	令和2年 (2020)	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)
酒田市	18.46%	16.42%	14.87%	13.66%	12.71%	11.45%	10.51%	9.82%	9.41%	9.00%	8.74%
	15.86%	19.64%	23.02%	25.93%	28.64%	32.65%	36.07%	38.31%	40.09%	41.72%	44.19%
三川町	18.53%	16.22%	14.93%	13.66%	12.91%	13.06%	12.99%	13.09%	12.54%	11.99%	11.67%
	17.98%	22.33%	25.94%	29.59%	30.68%	33.33%	36.01%	37.70%	38.41%	38.81%	40.09%
庄内町	17.98%	16.22%	14.85%	13.79%	12.82%	11.62%	10.76%	10.11%	9.76%	9.41%	9.23%
	17.22%	21.31%	25.05%	28.42%	30.57%	34.18%	37.68%	40.01%	41.81%	42.99%	44.49%
遊佐町	17.97%	16.05%	14.02%	11.97%	10.79%	9.85%	9.10%	8.57%	8.19%	7.83%	7.60%
	18.30%	22.87%	26.73%	30.29%	32.85%	37.23%	42.10%	45.73%	48.03%	49.10%	51.02%
圏域の合計	18.34%	16.34%	14.78%	13.51%	12.54%	11.41%	10.55%	9.93%	9.53%	9.13%	8.88%
	16.43%	20.36%	23.84%	26.91%	29.44%	33.34%	36.85%	39.17%	40.91%	42.34%	44.53%



③圏域内の通勤通学者の動向

構成町に居住し酒田市へ通勤通学する人の割合は、構成町の通勤通学者の35.28%となっており、3分の1以上の人酒田市に日常的なかかわりを持っている。

【圏域内の通勤通学者の動向（単位：人、下段は通勤通学者の割合）】

居住地	通勤通学者の総数	通勤通学地			
		酒田市	三川町	庄内町	遊佐町
酒田市	49,683	41,793	979	1,477	957
		84.12%	1.97%	2.97%	1.93%
三川町	3,422	600	1,017	147	7
		17.53%	29.72%	4.30%	0.20%
庄内町	9,899	3,087	448	3,737	63
		31.18%	4.53%	37.75%	0.64%
遊佐町	6,146	3,180	62	97	2,406
		51.74%	1.01%	1.58%	39.15%
圏域他市町からの通勤通学者総数		6,867	1,489	1,721	1,027
		35.28%	2.27%	2.90%	1.63%

資料：平成27年国勢調査より算出 通勤通学者の総数に自宅就業者を含まない。

(4) 圏域の将来像

圏域内の人口減少・高齢化が進んでいくと予測される中、圏域をあげて人口減少抑制のための施策に取り組んでいく。また、人口が減っても地域が活性化し賑わいを持続していくために、圏域市町が持つ都市機能や地域資源を有効に活用しながら、相互に連携・協力し、圏域全体で生活に必要な機能を確保していく必要があり、具体的に、次の3つの圏域づくりを目指す。

○安心して暮らし続けることができる圏域づくり

子どもから高齢者まで安心して生きがいと潤いの持てる生活を送ることができるよう、医療や福祉体制の確保、子育て環境や教育環境の充実、安全安心な消費生活環境や防災体制の確保など、地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる圏域づくりを目指す。

○地域経済が活性化し、働きたいがかなう圏域づくり

地域資源を生かした産業振興、雇用の創出、広域観光による誘客促進を図り、地域経済を活性化し、働きたいがかなう圏域づくりを目指す。

○潤いと賑わいのある圏域づくり

圏域内外を結ぶ交通ネットワークの構築や生活幹線道路の維持・確保等により、日常の買い物から医療・福祉、学習・文化活動や観光産業など、交流人口の拡大や圏域への人の流入を促進し、潤いと賑わいのある圏域づくりを目指す。

これらの圏域の将来像を実現するための基本目標を、次のように設定する。

【将来の人口増】

第1期目標 令和2（2020）年	令和元（2019）年（実績）	第2期目標 令和7（2025）年
141,359 人	143,790 人	136,319人

【将来の出生数】

第1期目標 令和元（2019）年	平成30（2018）年（実績）	第2期目標 令和6（2024）年
1,009 人	809 人	844人

【将来の圏域観光入込数】

第1期目標 令和元（2019）年	平成30（2018）年（実績）	第2期目標 令和6（2024）年
8,400 千人	7,313 千人	8,484千人

(5) 圏域の役割

①酒田市

定住に必要な都市機能の整備・提供や生活機能の確保・充実に努めるとともに、地域資源を活かした振興策に取り組み、圏域全体の活性化と住民が安心して暮らせる魅力ある圏域の形成を図る。

②連携する三川町・庄内町・遊佐町

生活機能の確保・充実に努めるとともに、それぞれが有する地域資源を活かした振興策に取り組み、圏域の魅力づくりと一体感の醸成に向け、それぞれが役割を果たす。

4 定住自立圏における取り組み一覧

(1) 第1期（平成27年度～令和元年度）の総括

第1期庄内北部定住自立圏共生ビジョンで取り組んだ40の事業について検証した。各事業のK P I 達成状況と第2期への反映の考え方については、下表のとおり。

【達成状況】	
A	当初目標としていたK P I（成果指標）を達成できた。（効果が十分に得られた）
B	当初目標としていたK P I（成果指標）を達成できなかったものの、基準値を上回った。 （一定の効果が得られた）
C	基準値を下回った。（効果が得られなかった）

事業No.	政策分野	分類	連携する取り組み項目	連携事業名	達成状況	第2期ビジョンへ反映の考え方	
1	生活機能の強化	医療	休日および夜間における診療体制の充実	休日および夜間における診療体制の充実	B	継続	
2			地域救急医療体制の充実支援	地域救急医療体制の充実支援	C	継続	
3			医療機関の連携、ネットワーク化（ちようかいネット）	医療機関の連携、ネットワーク化（ちようかいネット）	医療機関の連携、ネットワーク化（ちようかいネット）	A	継続
4				調剤情報の共有、ネットワーク化（ちようかいネット）	調剤情報の共有、ネットワーク化（ちようかいネット）	B	継続
5			看護師確保対策	看護師確保対策	B	継続	
6			がん検診受診率向上に向けた取り組みの拡大	がん検診受診率向上に向けた取り組みの拡大	B	継続	
7		福祉	児童センター、子育て支援センターの相互利用	児童センター、子育て支援センターの相互利用事業	A	継続	
8			病児・病後児保育施設の相互（広域）利用	病児・病後児保育施設の相互（広域）利用	A	継続	
9			ファミリーサポートセンターの相互（広域）利用	ファミリーサポートセンターの相互（広域）利用事業	A	継続	
10			介護関係職員の連携強化	包括的継続的ケアマネジメント事業	C	継続	
11		地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）利用支援	地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）広域利用事業	A	継続		
12		教育	スポーツ振興の推進	スポーツ少年団の大会等の開催および県駅伝実行委員会への支援	A	継続	
13				スポーツ・レクリエーション大会（広域型）開催事業	-	変更	
14			文化振興事業の連携推進	文化振興事業の連携推進	C	変更	
15			生涯学習・社会教育事業の相互利用の推進	生涯学習・社会教育事業の相互利用事業	A	継続	
16		文化財の保護および利活用推進	文化財の保護および利活用推進事業	C	継続		
17		産業	圏域観光物産事業の推進	観光振興・物産振興事業	A	継続	
18				鳥海山・飛島ジオパーク推進事業	A	継続	
19				酒の酒田の酒まつり事業	A	継続	
20				家族の時間づくりプロジェクト	-	継続	
21			企業振興、企業誘致等の推進	企業誘致活動の共同実施	A	継続	
22				企業振興の推進	A	継続	
23			創業の促進	創業塾の開催	B	継続	
24			高校生の地元定着の促進	地元企業情報冊子の配布	B	変更	
25			農産物のブランド化の推進	農産物のブランド化の推進	C	廃止	
26			育苗施設の広域利用	庄内北部地域花き育苗施設利用拡大事業	B	継続	
27		その他	相談事業の拡大	相談事業の拡大	A	継続	
28			男女共同参画推進センターの広域利用	酒田市男女共同参画推進センターの機能拡充事業	A	継続	
29			ボランティア・公益活動センターの広域利用（平成30年4月～名称変更）	酒田市ボランティア・公益活動センターの機能拡充事業	A	継続	
30			国際交流サロンの広域利用	酒田市国際交流サロンの機能拡充事業	C	継続	
31			環境共生社会の実現	環境保全等普及啓発事業	C	廃止	
32			森林環境の保全	森林病害虫等被害対策事業	B	継続	
33		消防防災・災害対応体制の充実	消防防災・災害対応体制の充実	A	継続		
34	結びつきやネットワークの強化	インフラ	道路・鉄道等インフラ整備の推進	国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備促進事業	A	継続	
35				山形新幹線庄内延伸促進事業	C	継続	
36		市町道ネットワークの向上	地域間連絡道路の安全な通行確保と効率的な維持管理	B	継続		
37	ワークの強化	地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築	A	継続		
38		地域内外の交流	グリーン・ツーリズムの推進	C	廃止		
39	その他	婚活支援事業の拡大	婚活支援事業の拡大	C	継続		
40	圏域マネジメント	交流・研修	合同研修および人事交流の実施	合同研修・人事交流事業	B	継続	

(2) 第2期（令和2年度～令和6年度）の取り組み

事業No.	政策分野	分類	連携する取り組み項目	連携事業名	協定町
1	生活機能の強化	医療	休日および夜間における診療体制の充実	休日および夜間における診療体制の充実	三川、庄内、遊佐
2			地域救急医療体制の充実支援	地域救急医療体制の充実支援	庄内、遊佐
3			医療機関の連携、ネットワーク化（ちようかいネット）	医療機関の連携、ネットワーク化（ちようかいネット）	三川、庄内、遊佐
4				調剤情報の共有、ネットワーク化（ちようかいネット）	庄内、遊佐
5			看護師確保対策	看護師確保対策	三川、庄内、遊佐
6			がん検診受診率向上に向けた取り組みの拡大	がん検診受診率向上に向けた取り組みの拡大	庄内、遊佐
7		福祉	児童センター、子育て支援センターの相互利用	児童センター、子育て支援センターの相互利用事業	三川、庄内、遊佐
8			病児・病後児保育施設の相互（広域）利用	病児・病後児保育施設の相互（広域）利用	三川、庄内、遊佐
9			ファミリーサポートセンターの相互（広域）利用	ファミリーサポートセンターの相互（広域）利用事業	三川、庄内、遊佐
10			介護関係職員の連携強化	包括的継続的ケアマネジメント事業	庄内、遊佐
11			地域密着型サービス(認知症対応型共同生活介護)利用支援	地域密着型サービス(認知症対応型共同生活介護)広域利用事業	三川、庄内、遊佐
12		教育	スポーツ振興の推進	スポーツ少年団の大会等の開催および県駅伝実行委員会への支援	遊佐
13				スポーツ大会の開催および支援事業	三川、庄内、遊佐
14			文化振興事業の推進	文化芸術活動への参加の促進	三川、庄内、遊佐
15			生涯学習・社会教育事業の相互利用の推進	生涯学習・社会教育事業の相互利用事業	三川、庄内、遊佐
16			文化財の保護および利活用の推進	文化財の保護および利活用推進事業	三川、庄内、遊佐
17		産業	圏域観光物産事業の推進	観光振興・物産振興事業	庄内、遊佐
18				北庄内地域通訳案内士育成事業	庄内、遊佐
19				鳥海山・飛鳥ジオパーク推進事業	遊佐
20				酒の酒田の酒まつり事業	遊佐
21				家族の時間づくりプロジェクト	遊佐
22			企業振興、企業誘致等の推進	企業誘致活動の共同実施	遊佐
23				企業振興の推進	三川、庄内、遊佐
24			創業の促進	創業塾の開催	遊佐
25			高校生の地元定着の促進	地元企業情報等の提供	庄内、遊佐
26			育苗施設の広域利用	庄内北部地域花き育苗施設利用拡大事業	庄内
27		その他	相談事業の拡大	相談事業の拡大	三川、庄内、遊佐
28			男女共同参画推進センターの広域利用	酒田市男女共同参画推進センターの機能拡充事業	三川、庄内、遊佐
29			ボランティア・公益活動センターの広域利用	酒田市ボランティア・公益活動センターの機能拡充事業	三川、庄内、遊佐
30			国際交流サロンの広域利用	酒田市国際交流サロンの機能拡充事業	三川、庄内、遊佐
31			森林環境の保全	森林病害虫等被害対策事業	遊佐
32		消防防災・災害対応体制の充実	消防防災・災害対応体制の充実	三川、庄内、遊佐	
33	結びつきやネットワークの強化	インフラ	道路・鉄道等インフラ整備の推進	国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備促進事業	三川、庄内、遊佐
34			山形新幹線庄内延伸促進事業	庄内、遊佐	
35		市町道ネットワークの向上	地域間連絡道路の安全な通行確保と効率的な維持管理	三川、庄内、遊佐	
36		地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築	地域公共交通の導入検討	三川、庄内、遊佐
37	その他	婚活支援事業の拡大	婚活支援事業の拡大	三川、庄内、遊佐	
38	圏域マネジメント	圏域市町職員交流	合同研修および人事交流の実施	合同研修・人事交流事業	三川、庄内、遊佐

5 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取り組み内容

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

医療

休日および夜間における診療体制の充実

1

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の休日および夜間の診療体制確保のため、甲が開設する「酒田市休日診療所」および日本海総合病院において酒田地区医師会の協力により実施する「平日夜間診療事業」の維持継続とともに、圏域内の住民に対し、これら初期救急医療施設の適正な利用に関する普及啓発を図る。
甲（酒田市）の役割	甲は、酒田市休日診療所の円滑な運営および日本海総合病院が実施する平日夜間における救急医療に対して支援を行い、初期救急医療の確保・充実を図る。 甲の住民に対し、休日および夜間における初期救急医療施設の適正な利用に関する普及啓発を行う。
乙（連携町）の役割	乙の住民に対し、休日および夜間における初期救急医療施設の適切な利用に関する普及啓発を行う。

具体的な連携事業

事業名	休日および夜間における診療体制の充実						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	医師会・薬剤師会および日本海総合病院と連携して、休日診療所および夜間診療を開設し、関係市町および医療関係団体並びに各種メディアを通じて、休日診療所および夜間診療の適正な利用に関する普及啓発活動を行う。						
期待される効果	初期救急医療体制の維持・確保が図られ、住民の安全・安心な生活が期待される。 また、普及啓発活動の実施により、住民が地域の救急医療体制について意識することで、適切な施設利用が期待される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	休日診療所および夜間診療の開設	→	→	→	→	→	
	普及啓発活動の実施	→	→	→	→	→	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	17,200	17,200	17,200	17,200	17,200	17,200
	三川町	0	0	0	0	0	0
	庄内町	91	115	115	115	115	115
	遊佐町	202	202	202	202	202	202
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
休日診療所・夜間診療の開設率	100%			100%			
役割分担の考え方	酒田市は、医師会・薬剤師会および日本海総合病院と連携して、休日診療所および夜間診療を開設する。 酒田市は、各町および医療関係団体並びに各種メディアとの連絡調整を担当する。 各市町は、共同で住民に対する普及啓発活動を行う。						

地域救急医療体制の充実支援

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の救急医療体制の充実強化を図るため、関係機関・団体の連携促進や救急車の適正利用に関する普及啓発等を図る。
甲（酒田市）の役割	甲は、乙および関係機関・団体と連携し、甲の住民に対し、救急車の適正な利用や救急搬送基準に関する普及啓発を行う。
乙（連携町）の役割	乙は、甲および関係機関・団体と連携し、乙の住民に対し、救急車の適正な利用や救急搬送基準に関する普及啓発を行う。

具体的な連携事業

事業名	地域救急医療体制の充実支援						
関係市町名	酒田市、庄内町、遊佐町						
事業内容	救急医療体制充実強化のため、酒田市が事務局となって運営する「酒田地区救急医療対策協議会」において、救急医療の課題抽出およびその解決策の検討を行うとともに、住民に対する普及啓発等の施策を実施する。						
期待される効果	救急医療体制が充実強化されることにより、住民の安全・安心な生活が期待される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	地域救急医療の課題検討	→	→	→	→	→	
	普及啓発等施策の実施	→	→	→	→	→	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	68	68	68	68	68	68
	庄内町	19	19	19	19	19	19
	遊佐町	15	15	15	15	15	15
活用を想定する補助制度	山形県地域救急医療体制整備推進事業費補助金						
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
救命講習等の受講人数	3,186人（31.1～1.11末実績）			3,500人			
役割分担の考え方	酒田市は、事務局として関係機関・団体との連絡調整を行う。 住民への普及啓発等は、各市町がそれぞれ行う。 各市町は、酒田地区救急医療対策協議会の負担金を拠出する。						

医療機関の連携、ネットワーク化（ちょうかいネット）

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の住民に対し、一貫した治療方針のもと切れ目のない医療を提供する医療連携体制を構築するため、関係医療機関による医療情報の共有化を図る。
甲（酒田市）の役割	甲は、医療情報のネットワーク化を推進している団体との連携を図るとともに、甲の区域に所在する医療機関に対する医療情報ネットワークへの参加の働きかけ等を支援する。
乙（連携町）の役割	乙は、乙の区域に所在する医療機関に対する医療情報ネットワークへの参加の働きかけ等を支援する。

具体的な連携事業

事業名	医療機関の連携、ネットワーク化（ちょうかいネット）						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	住民に対し、一貫した治療方針のもと切れ目のない医療を提供する医療連携体制を構築するため、関係医療機関による医療情報の共有化を図る。						
期待される効果	医療情報の共有化実現により、医療機関において一貫した医療体制の構築が図られ、住民の安全・安心な生活が期待される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	医療機関への参加の働きかけ等の支援	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	300	300	300	300	300	300
	三川町	0	0	0	0	0	0
	庄内町	0	0	0	0	0	0
	遊佐町	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
定住自立圏域内のネットワークへの参加医療機関数	154施設			200施設			
役割分担の考え方	酒田市は、各町およびネットワーク運営団体との連絡調整を行う。 各医療機関への参加の働きかけ等の支援は、各市町がそれぞれ行う。						

医療機関の連携、ネットワーク化（ちょうかいネット）

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の住民に対し、一貫した治療方針のもと切れ目のない医療を提供する医療連携体制を構築するため、関係医療機関による医療情報の共有化を図る。
甲（酒田市）の役割	甲は、医療情報のネットワーク化を推進している団体との連携を図るとともに、甲の区域に所在する医療機関に対する医療情報ネットワークへの参加の働きかけ等を支援する。
乙（連携町）の役割	乙は、乙の区域に所在する医療機関に対する医療情報ネットワークへの参加の働きかけ等を支援する。

具体的な連携事業

事業名	調剤情報の共有、ネットワーク化（ちょうかいネット）						
関係市町名	酒田市、庄内町、遊佐町						
事業内容	医療費の抑制や服薬指導の効率化を図ることを目的に、ちょうかいネット運営の中核となっている医療機関および薬剤師会との連携強化を図り、ネットワークへの参加医療機関（薬局）の増加に向けた支援を行う。						
期待される効果	調剤情報の共有化により、医療費の適正が促進されるとともに、医療水準の向上による住民の安全・安心な生活が期待される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	システム運用コストの支援	➔	R 3以降は今後調整				
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	1,315	1,547				
	庄内町	99	84	R 3以降は今後調整			
	遊佐町	30	30				
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
ネットワークへ参加調剤薬局数	49店		61店				
役割分担の考え方	酒田市は、各町およびネットワーク運営団体との連絡調整を行う。 各市町は、調剤情報の共有を行うための運用コストを負担することで、参加薬局の加入促進を支援する。						

看護師確保対策
形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の看護師を確保するため、甲および乙が連携して看護師確保に向けた取り組みを行うとともに、甲が設置する酒田看護専門学校からの圏域医療機関への定着増等に向けた取り組みを行う。
甲（酒田市）の役割	甲の住民に対して、潜在看護師の掘り起こしのため募集活動を行うとともに、乙の情報を活用しながら酒田看護専門学校の圏域医療機関への定着増に向けた取り組みを行う。
乙（連携町）の役割	乙の住民に対して、潜在看護師の掘り起こしのための募集活動を行うとともに、甲と連携し、酒田看護専門学校の圏域医療機関への定着増に向けた取り組みに協力する。

具体的な連携事業

事業名	看護師確保対策						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	県の地域医療ビジョン等を踏まえ、地域における看護師の需給状況を把握し、酒田看護専門学校の学生募集活動や圏域医療機関への定着に向けた取り組みを行う。						
期待される効果	酒田看護専門学校からの圏域内医療機関への就労促進と定着が期待され、看護師の確保とともに、その適正配置が図られる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	学生募集活動	→	→	→	→	→	
	就労支援制度の周知	→	→	→	→	→	
	圏域医療機関への就職活動支援	→	→	→	→	→	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	529	522	522	522	522	522
	三川町	0	0	0	0	0	0
	庄内町	0	0	0	0	0	0
	遊佐町	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
酒田看護専門学校の圏域内医療機関への就職内定率	71.4%			75.0%			
役割分担の考え方	酒田市は、酒田看護専門学校の学生募集活動を行い、各町との連絡調整を行う。 各町は、酒田看護専門学校の学生募集活動に協力する。 就労支援制度の周知は、各市町がそれぞれ行う。						

がん検診受診率向上に向けた取り組みの拡大

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の住民の生命・健康を守るため、甲および乙が連携して、がんの早期発見・早期治療に有効な検診の啓発活動を推進し、職域への受診向上を働きかけるなど、受診率の向上に向けた取り組みを行う。
甲（酒田市）の役割	啓発のための広報活動や講演会の開催、職域の受診状況の実態調査や受診勧奨等について、乙と連携して取り組むとともに、その調整を図る。
乙（連携町）の役割	上記甲の取り組みについて、甲と連携して取り組む。

具体的な連携事業

事業名	がん検診受診率向上に向けた取り組みの拡大						
関係市町名	酒田市、庄内町、遊佐町						
事業内容	がん検診の周知啓発を図るためのチラシ作成やキャンペーン、講演会などを開催する。また、職域と連携し、受診状況の実態調査と受診勧奨を行う。						
期待される効果	受診率が向上し、早期発見・早期治療が推進され、健康寿命の延伸が図れることが期待される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	啓発事業(チラシ、キャンペーン等)	➡	➡	➡	➡	➡	
	職域の実態調査・受診勧奨	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	473	473	473	473	473	473
	庄内町	91	15	15	15	15	15
	遊佐町	30	30	30	30	30	30
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（H30）					目標値（R6）	
各種がん検診の受診率	(胃がん) 酒28.5%庄39.8%遊41.9% (子宮がん) 酒40.7%庄60.1%遊38.1% (乳がん) 酒23.7%庄50.9%遊31.7% (肺がん) 酒57.5%庄59.0%遊65.4% (大腸がん) 酒48.6%庄56.5%遊59.8%					各市町各健診すべて50%以上	
役割分担の考え方	酒田市は、各町との連絡、調整を担当する。 啓発等に係る経費は、各市町がそれぞれ負担する。 住民への情報提供は、各市町がそれぞれ行う。						

児童センター、子育て支援センターの相互利用

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の子育て環境の充実を図るため、甲が設置する児童センター並びに甲および乙が設置する子育て支援センターについて、甲および乙の住民を対象に事業を展開する。
甲（酒田市）の役割	甲が設置する児童センターおよび子育て支援センターで実施する育児相談、育児講座等の事業について、乙の住民が今後も利用できるようにするとともに、甲の住民に対し、乙の子育て支援センターの利用に関する周知を行う。
乙（連携町）の役割	乙が設置する子育て支援センターで実施する育児相談、育児講座等の事業について、甲の住民が今後も利用できるようにするとともに、乙の住民に対して、甲の児童センターおよび子育て支援センターの利用に関する周知を行う。

具体的な連携事業

事業名	児童センター、子育て支援センターの相互利用事業						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	酒田市が設置する児童センター並びに酒田市、三川町、庄内町および遊佐町が設置する子育て支援センターの利用および同所にて実施する育児相談、育児講座等の事業について、住民が利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。						
期待される効果	安心して子育てできる環境の向上が期待される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	育児相談、子育て講座等への受け入れ	➡	➡	➡	➡	➡	
	P R 活動	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	29,888	37,543	37,543	37,543	37,543	37,543
	三川町	4,653	18,767	18,767	18,767	18,767	18,767
	庄内町	17,815	23,110	23,110	23,110	23,110	23,110
	遊佐町	2,801	3,062	3,062	3,062	3,062	3,062
活用を想定する補助制度	子ども・子育て支援交付金（国）、山形県保育対策等促進事業費補助金（県）						
成果指標KPI	現状値（H30）			目標値（R6）			
児童センター、子育て支援センターの酒田市内からの利用者の割合	16%			16%			
役割分担の考え方	酒田市は、各町との連絡、調整を担当する。 講座等に係る開催経費および活動広報経費は、各市町それぞれが負担する。 住民への情報提供は、各市町それぞれが行う。						

病児・病後児保育施設の相互（広域）利用

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の子育て環境の充実を図るため、圏域内に設置されている病児・病後児保育施設について、甲および乙の住民を対象に事業を展開する。
甲（酒田市）の役割	甲が設置する病児・病後児保育施設を乙の住民も利用できるようにするとともに、取り組みの調整を図る。甲の住民に対して、乙（遊佐町を除く。）が設置する病児・病後児保育施設の利用に関する周知を行う。
乙（連携町）の役割	乙（遊佐町を除く。）が設置する病児・病後児保育施設を甲の住民も利用できるようにする。乙の住民に対して、甲が設置する病児・病後児保育施設の利用に関する周知を行う。

具体的な連携事業

事業名	病児・病後児保育施設の相互（広域）利用						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	病児・病後児保育施設「あきほ病児・病後児保育所」、病児・病後児保育施設「にこっと」（三川町）および病児・病後児保育施設「ほっと」（庄内町）について、住民が利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。						
期待される効果	児童の健全育成および保護者の就労支援が期待される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	広域利用の実施	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	18,470	14,979	14,979	14,979	14,979	14,979
	三川町	15,532	20,369	20,369	20,369	20,369	20,369
	庄内町	12,552	12,552	12,552	12,552	12,552	12,552
	遊佐町	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度	子ども・子育て支援交付金（国）、山形県保育対策等促進事業費補助金（県）						
成果指標KPI	現状値（H30）			目標値（R6）			
広域利用件数	90件			100件			
役割分担の考え方	酒田市は、各町および医療関係団体との連絡調整を担当する。 各市町は、それぞれ住民へ周知を行う。						

ファミリーサポートセンターの相互（広域）利用
形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の子育て支援の充実を図るため、圏域内のファミリーサポートセンターについて、甲および乙の住民を対象に事業を展開する。
甲（酒田市）の役割	甲が実施するファミリーサポートセンター事業について、甲に勤務する乙の住民が今後も利用できるようにするとともに、取り組みの調整を図る。 甲の住民に対し、乙（庄内町のみ）が実施するファミリーサポートセンター事業の利用に関する周知を行う。
乙（連携町）の役割	乙（庄内町のみ）が実施するファミリーサポートセンター事業について、乙に勤務する甲の住民が利用できるようにする。 乙の住民に対して、甲が実施するファミリーサポートセンター事業の利用に関する周知を行う。

具体的な連携事業

事業名	ファミリーサポートセンターの相互（広域）利用事業						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	酒田市および庄内町が実施するファミリーサポートセンター事業について、住民が利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。						
期待される効果	圏域全体として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	広域会員の受入・調整	➡	➡	➡	➡	➡	
	P R 活動	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	4,975	5,522	5,522	5,522	5,522	5,522
	三川町	0	0	0	0	0	0
	庄内町	70	73	73	73	73	73
	遊佐町	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度	子ども・子育て支援交付金（国）、山形県保育対策等促進事業費補助金（県）						
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
広域会員数	13名			13名			
役割分担の考え方	酒田市は、各町との連絡、調整を担当する。 保険の加入に係る経費は、各市町が協議のうえ負担する。 住民への情報提供は、各市町それぞれが行う。						

介護関係職員の連携強化
形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の介護職員のケアマネジメント能力の強化および相互協力体制の構築を図るため、介護関係従事者を対象とした研修会等を実施する。
甲（酒田市）の役割	介護関係従事者を対象とした研修会等の開催等について、乙と連携して取り組むとともに、その調整を図る。
乙（連携町）の役割	上記甲の取り組みについて、甲と連携して実施する。

具体的な連携事業

事業名	包括的継続的ケアマネジメント事業						
関係市町名	酒田市、庄内町、遊佐町						
事業内容	包括的継続的ケアマネジメント事業として、他職種協働に向けた研修や講演会を開催する。						
期待される効果	介護職員のケアマネジメント能力の強化が図られる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	研修会・講演会等の開催	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	679	662	662	662	662	662
	庄内町	0	0	0	0	0	0
	遊佐町	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（H30）			目標値（R6）			
研修会・講演会の参加者数	295人			400人			
役割分担の考え方	酒田市は、事務局として町および関係組織・団体との連絡調整を行う。						

地域密着型サービス(認知症対応型共同生活介護)利用支援

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の認知症高齢者の支援の充実を図るため、圏域内にある認知症対応型共同生活介護サービス事業所（認知症高齢者グループホーム）の利用について、甲および乙の住民が相互に利用できるよう調整を行い、認知症に係る介護事業の充実を図る。
甲（酒田市）の役割	甲の区域に所在する認知症対応型共同生活介護サービス事業所を乙の住民も利用できるようにするとともに、取り組みの調整を図る。
乙（連携町）の役割	乙の区域に所在する認知症対応型共同生活介護サービス事業所を甲の住民も利用できるようにする。

具体的な連携事業

事業名	地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）広域利用事業						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	認知症対応型共同生活介護サービス事業所（認知症高齢者グループホーム）について、住民が相互に利用できるようにするとともに、各市町のグループホームの情報を共有し、利用可能な施設への誘導を行う。						
期待される効果	入所希望者の待機期間短縮と、施設の有効利用が期待できる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目		R2	R3	R4	R5	R6
	広域利用の実施		➡	➡	➡	➡	➡
	共有情報のHP掲載		➡	➡	➡	➡	➡
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	48,399	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
	三川町	0	0	0	0	0	0
	庄内町	0	0	0	0	0	0
	遊佐町	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
各町にある認知症対応型共同生活介護サービス事業所の酒田市民の利用者数	9人			15人			
役割分担の考え方	酒田市は、各町の介護保険担当課および圏域内の事業所との連絡・調整を担当する。						

スポーツ振興の推進

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内のスポーツの振興を図るため、甲および乙が実施しているスポーツイベント、スポーツ教室（以下、「スポーツイベント等」という。）やスポーツ活動の支援について、甲および乙が連携して取り組む。
甲（酒田市）の役割	甲が実施するスポーツイベント等について、乙の住民が今後も参加できるようにするとともに、乙が実施するスポーツイベント等への参加に関する周知を行う。 乙と連携しスポーツ活動へ支援を行う。
乙（連携町）の役割	乙が実施するスポーツイベント等について、甲の住民が今後も参加できるようにするとともに、甲が実施するスポーツイベント等への参加に関する周知を行う。 甲と連携しスポーツ活動へ支援を行う。

具体的な連携事業

事業名	スポーツ少年団の大会等の開催および県駅伝実行委員会への支援						
関係市町名	酒田市、遊佐町						
事業内容	酒田市・遊佐町のスポーツ少年団（野球・サッカー・バレー・バスケット・卓球・剣道）6種目の大会と、同スポーツ少年団のスポーツ交流事業を実施するとともに、県駅伝酒田飽海実行委員会に対する支援を行う。						
期待される効果	酒田市・遊佐町のスポーツ少年団員の練習の成果を試す場を作ることで、競技力向上が期待できる。 酒田市・遊佐町のスポーツ少年団員の競技の垣根を越えた交流により、スポーツの楽しさを覚え、交流人口の拡大が期待できる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	スポ少の大会等の開催	➡	➡	➡	➡	➡	
	県駅伝実行委員会への支援	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	1,823	4,262	4,262	4,262	4,262	4,262
	遊佐町	492	152	152	152	152	152
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
実施競技数と両市町参加者数	6競技、1,140人			6競技、1,030人			
役割分担の考え方	酒田市は、遊佐町および関係機関・団体との連絡調整を担当する。						

スポーツ振興の推進

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内のスポーツの振興を図るため、甲および乙が実施しているスポーツイベント、スポーツ教室（以下、「スポーツイベント等」という。）やスポーツ活動の支援について、甲および乙が連携して取り組む。
甲（酒田市）の役割	甲が実施するスポーツイベント等について、乙の住民が今後も参加できるようにするとともに、乙が実施するスポーツイベント等への参加に関する周知を行う。 乙と連携しスポーツ活動へ支援を行う。
乙（連携町）の役割	乙が実施するスポーツイベント等について、甲の住民が今後も参加できるようにするとともに、甲が実施するスポーツイベント等への参加に関する周知を行う。 甲と連携しスポーツ活動へ支援を行う。

具体的な連携事業

事業名	スポーツ大会の開催および支援事業						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	スポーツ大会の開催および共催する大会への支援をおこない、住民のスポーツ振興を図る。						
期待される効果	スポーツに親しみ健康的な生活を送ることで、住民の健康寿命の延伸や、スポーツを通じた住民の交流促進が図られる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	スポーツ大会の実施	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	-	14,309	14,309	14,309	14,309	14,309
	三川町	-	0	0	0	0	0
	庄内町	-	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
	遊佐町	-	4,400	4,400	4,400	4,400	4,400
活用を想定する補助制度	日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金						
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
主催大会への圏域住民の参加者数	834人			1,000人			
役割分担の考え方	酒田市は、大会の開催および支援を担当する。 酒田市は、各町および関係機関との連絡調整を担当する。 住民への情報提供は、各市町それぞれが行う。						

文化振興事業の推進

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の文化振興を図るため、甲が実施する体験型ワークショップ等に圏域住民が参加できるようにするとともに、圏域内のホールで実施する自主事業について広域的な広報活動をする。
甲（酒田市）の役割	甲が実施する体験型ワークショップ等について、乙の住民が参加できるようにするとともに、乙と連携し、甲の住民に対し、乙の地域で実施する事業も含めた広報活動を行う。
乙（連携町）の役割	甲と連携し、乙の住民に対し、甲の地域で実施する事業も含めた広報活動を行う。

具体的な連携事業

事業名	文化芸術活動への参加の促進						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	ホールで実施する事業について、広域的に広報活動を行うとともに、酒田市が実施する体験型ワークショップ等に住民が参加できるようにする。						
期待される効果	文化芸術に親しむことで圏域住民の文化振興や、体験型ワークショップを通じた住民の交流促進が図られる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	体験型ワークショップの開催	➡	➡	➡	➡	➡	
	自主事業の広報活動	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	-	3,015	3,015	3,015	3,015	3,015
	三川町	-	176	176	176	176	176
	庄内町	-	860	860	860	860	860
	遊佐町	-	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
活用を想定する補助制度	自治総合センターコミュニティ助成金						
成果指標KPI	現状値（H30）			目標値（R6）			
酒田市外の圏域参加者数	36人			43人			
役割分担の考え方	酒田市は体験型ワークショップに要する費用を負担する。 各市町は共同して、圏域内のホールで実施する事業について、広域的に住民に対する広報活動を行う。						

生涯学習・社会教育事業の相互利用の推進

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の住民がより多様な学習機会を得られるよう、甲および乙が実施しているイベント、教室、各種講座（以下「各種講座等」という。）について、甲および乙の住民を対象に事業を実施する。
甲（酒田市）の役割	甲が実施する各種講座等について、乙の住民も利用できるようにするとともに、乙が実施する各種講座等の利用に関する周知を行う。
乙（連携町）の役割	乙が実施する各種講座等について、甲の住民が今後も利用できるようにするとともに、甲が実施する各種講座等の利用に関する周知を行う。

具体的な連携事業

事業名	生涯学習・社会教育事業の相互利用事業						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	各市町が実施する生涯学習・社会教育の各種講座等について、住民が利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。						
期待される効果	地域の特色ある多様な学習機会が得られるとともに、広域的な広報により集客力が高められる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	広域的な事業実施	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	3,124	3,281	3,281	3,281	3,281	3,281
	三川町	167	210	210	210	210	210
	庄内町	365	293	293	293	293	293
	遊佐町	450	450	450	450	450	450
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（H30）			目標値（R6）			
酒田市の講座事業への圏域からの参加者数	20人			40人			
役割分担の考え方	酒田市は、各町および関係組織・団体との連絡調整を行う。 住民への周知は、各市町がそれぞれ行う。						

文化財の保護および利活用の推進

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の文化財・史跡等の適切な保護および有効活用を図るため、多様な文化遺産の情報を相互に周知するとともに、圏域全体での有形文化財の展示や無形文化財の公演など広域連携を図る。
甲（酒田市）の役割	甲の住民に対して、圏域内の文化財・史跡等の多様な文化遺産の情報を周知するとともに、乙と連携して文化遺産の展示等により、その利活用を図る。
乙（連携町）の役割	乙の住民に対して、圏域内の文化財・史跡等の多様な文化遺産の情報を周知するとともに、甲と連携してその利活用を図る。

具体的な連携事業

事業名	文化財の保護および利活用の推進事業						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	圏域内における文化遺産の情報を相互に周知するとともに、有形文化財の展示や無形文化財の公演等の相互交流事業を推進する。						
期待される効果	広く学習情報を発信することができることで、学習機会が増えることとなる。また、公演会の開催等による交流人口の拡大や、伝承保存活動が期待できる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	文化財リストの作成と周知	➡	➡	➡	➡	➡	
	文化財展示、民俗芸能の公演	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	1,657	1,536	1,536	1,536	1,536	1,536
	三川町	83	83	83	83	83	83
	庄内町	4,478	3,412	3,412	3,412	3,412	3,412
	遊佐町	1,074	1,135	1,135	1,135	1,135	1,135
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値 (H30)			目標値 (R6)			
酒田市民俗芸能フェスティバル・遊佐町民俗芸能祭の観覧者数	926人			1,000人			
役割分担の考え方	文化財リストの作成や住民への周知は、各市町が行う。 各市町は、文化財の展示や民俗芸能の公演について、それぞれ協力して実施するとともに、住民に対する広報活動を行う。						

圏域観光物産事業の推進

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の観光物産振興のため、甲および乙が連携して観光資源の掘り起こし、P Rや情報発信の強化を図るとともに、圏域の観光物産振興をより一層強化する。
甲（酒田市）の役割	圏域の観光物産振興のため、乙と連携して関係機関との連携・調整および企画運営を行う。
乙（連携町）の役割	甲と連携して、関係機関との連携、調整および企画運営に協力する。

具体的な連携事業

事業名	観光振興・物産振興事業						
関係市町名	酒田市、庄内町、遊佐町						
事業内容	観光誘客および周遊化への誘導に取り組むとともに、首都圏や仙台等での物産展への参加や観光P R活動を行う。						
期待される効果	誘客の拡大、地域の活性化、物産の販路拡大などが図られる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	広域的な事業実施	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	1,685	1,675	1,675	1,675	1,675	1,675
	庄内町	0	0	0	0	0	0
	遊佐町	1,452	1,295	1,295	1,295	1,295	1,295
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
クルーズ船受入時の物販参加町数	2町			2町			
役割分担の考え方	酒田市は、各町および関係機関・団体との連絡調整を行う。						

圏域観光物産事業の推進

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の観光物産振興のため、甲および乙が連携して観光資源の掘り起こし、P Rや情報発信の強化を図るとともに、圏域の観光物産振興をより一層強化する。
甲（酒田市）の役割	圏域の観光物産振興のため、乙と連携して関係機関との連携・調整および企画運営を行う。
乙（連携町）の役割	甲と連携して、関係機関との連携、調整および企画運営に協力する。

具体的な連携事業

事業名	北庄内地域通訳案内士育成事業						
関係市町名	酒田市、庄内町、遊佐町						
事業内容	外国人観光客の受入体制の充実を図るため、歴史・文化など圏域の魅力を伝える北庄内地域通訳案内士を養成する。						
期待される効果	外国人観光客の満足度を向上させ、リピーターや情報発信者になってもらうことで、関係人口が増加し、地域の雇用創出と経済の活性化につながる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目		R2	R3	R4	R5	R6
	案内士スキルアップ研修実施		→	→	→	→	→
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	-	5,836				
	庄内町	-	0	R 3以降は今後調整			
	遊佐町	-	0				
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
スキルアップ研修の実施	1回			1回			
役割分担の考え方	酒田市は、北庄内地域通訳案内士を養成するためスキルアップ研修を実施する。 各市町は、北庄内地域通訳案内士について、住民へ周知し、地域人材の掘り起こしを行う。						

圏域観光物産事業の推進

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の観光物産振興のため、甲および乙が連携して観光資源の掘り起こし、P Rや情報発信の強化を図るとともに、圏域の観光物産振興をより一層強化する。
甲（酒田市）の役割	圏域の観光物産振興のため、乙と連携して関係機関との連携・調整および企画運営を行う。
乙（連携町）の役割	甲と連携して、関係機関との連携、調整および企画運営に協力する。

具体的な連携事業

事業名	鳥海山・飛島ジオパーク推進事業						
関係市町名	酒田市、遊佐町						
事業内容	看板や解説板等の整備、住民の機運を醸成するとともに、案内ガイドの養成を行い、ジオパークの名所を巡るツアーを関係市町で連携・協力し実施する。						
期待される効果	鳥海山・飛島ジオパークの周知および圏域の観光振興が図られる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	ジオパーク環境整備、住民の機運醸成	→	→	→	→	→	
	ジオツーリズムの実施	→	→	→	→	→	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	14,328	14,412	14,412	14,412	14,412	14,412
	遊佐町	11,193	10,643	10,643	10,643	10,643	10,643
活用を想定する補助制度	鳥海山・飛島ジオパーク自治体支援事業助成金						
成果指標KPI	現状値（H30）			目標値（R6）			
ジオガイドを活用したツアー数	32本			30本			
役割分担の考え方	酒田市は、遊佐町および関係機関・団体との連絡調整を担当する。						

圏域観光物産事業の推進

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の観光物産振興のため、甲および乙が連携して観光資源の掘り起こし、P Rや情報発信の強化を図るとともに、圏域の観光物産振興をより一層強化する。
甲（酒田市）の役割	圏域の観光物産振興のため、乙と連携して関係機関との連携・調整および企画運営を行う。
乙（連携町）の役割	甲と連携して、関係機関との連携、調整および企画運営に協力する。

具体的な連携事業

事業名	酒の酒田の酒まつり事業						
関係市町名	酒田市、遊佐町						
事業内容	寒鱈まつりに合わせ圏域の地酒の試飲イベントを開催し、地酒と食をP Rする。						
期待される効果	地酒の消費拡大、イベントの開催による観光発信と誘客効果が図られる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	広域的な事業実施	→	→	→	→	→	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	500	973	973	973	973	973
	遊佐町	100	100	100	100	100	100
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値 (H30)			目標値 (R6)			
酒の酒田の酒まつりでの有料試飲売上額	296,050円			180,000円			
役割分担の考え方	酒田市は、遊佐町および関係機関・団体との連絡調整を担当する。						

圏域観光物産事業の推進

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の観光物産振興のため、甲および乙が連携して観光資源の掘り起こし、P Rや情報発信の強化を図るとともに、圏域の観光物産振興をより一層強化する。
甲（酒田市）の役割	圏域の観光物産振興のため、乙と連携して関係機関との連携・調整および企画運営を行う。
乙（連携町）の役割	甲と連携して、関係機関との連携、調整および企画運営に協力する。

具体的な連携事業

事業名	家族の時間づくりプロジェクト						
関係市町名	酒田市、遊佐町						
事業内容	酒田祭りの開催日に合わせ、学校を休業日とする「ふるさと休日」を設定する。						
期待される効果	子どもたちが酒田祭りへ参加しやすくなるとともに、お祭りへの参加による地元愛の醸成や地域伝統の維持にも貢献できる。 また、子どもだけでなく親・家族の時間の確保も必要であるので、管内事業所に年休取得の促進や会議を入れないなどの配慮を呼び掛けるチラシ等作成・配布し周知する。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	学校や企業への働きかけ	→	→	→	→	→	
	宣伝・PR活動	→	→	→	→	→	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	0	0	0	0	0	0
	遊佐町	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
ふるさと休日（終日）に取り組む小中学校数	34校			34校			
役割分担の考え方	両市町は、共同して事業の企画・運営を行う。						

企業振興、企業誘致等の推進

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の企業振興、圏域内への企業誘致等により地域経済の活性化を図るため、甲および乙が連携して圏域内の企業 P R や優良企業の誘致に向けた取り組みを行う。
甲（酒田市）の役割	甲および乙の地域における地域経済の活性化のため、関係機関と調整し各種方策に取り組む。
乙（連携町）の役割	甲と連携して各種方策に取り組む。

具体的な連携事業

事業名	企業誘致活動の共同実施						
関係市町名	酒田市、遊佐町						
事業内容	酒田・遊佐工業団地企業誘致促進協議会による企業訪問や企業誘致関連セミナーへの出展などを通じて、企業誘致に係る情報発信および情報収集を行う。						
期待される効果	新規の企業立地（設備投資）と雇用創出が促進される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	企業誘致活動	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
	遊佐町	600	600	600	600	600	600
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
企業誘致活動の継続実施	継続実施			継続実施			
役割分担の考え方	酒田市は、酒田・遊佐工業団地企業誘致促進協議会の事務局として遊佐町および山形県などの関係機関との連絡調整を行う。 事業費については、酒田市80%および遊佐町20%の割合で負担する。						

企業振興、企業誘致等の推進

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の企業振興、圏域内への企業誘致等により地域経済の活性化を図るため、甲および乙が連携して圏域内の企業 P R や優良企業の誘致に向けた取り組みを行う。
甲（酒田市）の役割	甲および乙の地域における地域経済の活性化のため、関係機関と調整し各種方策に取り組む。
乙（連携町）の役割	甲と連携して各種方策に取り組む。

具体的な連携事業

事業名	企業振興の推進						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	さかた産業フェアへの出展対象企業について、酒田市以外の各町に事業所がある企業に拡大する。						
期待される効果	庄内北部圏域の企業交流の活発化が図られる。 より広域への地域産品の周知が図られる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	酒田産業フェアの開催	→	→	→	→	→	
	出展対象企業の拡充	→	→	→	→	→	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	9,077	10,756	10,756	10,756	10,756	10,756
	三川町	0	0	0	0	0	0
	庄内町	0	0	0	0	0	0
	遊佐町	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
各町からの出展企業数	4社			3社			
役割分担の考え方	酒田市は、事務局として各町および関係組織・団体との連絡調整を行う。 各市町は、出展企業・団体の募集および住民への周知を行う。 各市町の負担額については、企業の参加状況等により按分を検討する。						

創業の促進
形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の地域経済の活性化および雇用の創出を図るため、甲および乙が商工会議所、商工会と連携し、創業塾の開催等の創業を支援する取り組みを行う。
甲（酒田市）の役割	乙および商工会議所、商工会と連携、調整を図り、創業を支援する取り組みを行う。
乙（連携町）の役割	甲および商工会議所、商工会と連携し、創業を支援する取り組みを行う。

具体的な連携事業

事業名	創業塾の開催						
関係市町名	酒田市、遊佐町						
事業内容	地域経済の活性化および雇用の創出を図るため、酒田市および遊佐町が商工会議所、商工会と連携し、創業塾の開催等の創業を支援する取り組みを行う。						
期待される効果	酒田商工会議所および遊佐町商工会が連携して行う創業塾の開催を支援するとともに、酒田市および遊佐町に在住する創業希望者の受講を促進する。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	創業塾の開催	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	428	328	328	328	328	328
	遊佐町	200	130	130	130	130	130
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（H30）			目標値（R6）			
創業塾受講者数	22人（うち遊佐町3人）			30人			
役割分担の考え方	酒田市は、遊佐町および酒田商工会議所、遊佐町商工会との連絡調整を行う。 創業塾の開催の周知は、両市町が関係機関と連携して行う。 両市町は、在住する創業塾修了者から希望があった場合は、特定創業支援事業により支援を受けたことの証明を発行する。 酒田商工会議所の創業塾の開催に際し、遊佐町が周知に関する業務のサポートを行い、酒田市と遊佐町商工会が補助金による支援を行う。						

高校生の地元定着の促進

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の高校生の地元定着を図るため、甲および乙が高等学校と連携し、高校生に対する地元企業のPRを行う。
甲（酒田市）の役割	乙および高等学校と連携し、高校生に対して地元企業のPRを行う。
乙（連携町）の役割	甲および高等学校と連携し、高校生に対して地元企業のPRを行う。

具体的な連携事業

事業名	地元企業情報等の提供						
関係市町名	酒田市、遊佐町、庄内町						
事業内容	地元企業情報等を、圏域内の高等学校に提供し、高校生から地元企業を知ってもらうとともに就職活動の際に活用してもらい、地元就職を促進する。						
期待される効果	企業情報等を提供、PRすることにより圏域内の若者の地元就職が促進される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目		R2	R3	R4	R5	R6
	地元企業情報等の提供		→	→	→	→	→
事業費見込（千円）	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	0	0	0	0	0	0
	庄内町	0	0	0	0	0	0
	遊佐町	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
HW酒田管内新規高卒就職希望者の県内就職率	63.7%（H30） 56.0%（R2.1末）			（5年平均）70.0%			
役割分担の考え方	酒田市は、地元企情報等の作成および、庄内町、遊佐町、市内高等学校との連絡調整を行う。遊佐町、庄内町は町内高等学校との連絡調整を行う。						

育苗施設の広域利用

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の産地化の拡大・強化を図るため、育苗施設について、甲乙協議の上、圏域全体で利用できるように調整し利用拡大を図る。
甲（酒田市）の役割	育苗施設の広域利用について乙と協議し、甲の住民に育苗施設の利用に関する周知を行う。
乙（連携町）の役割	育苗施設の広域利用について甲と協議し、甲の住民が今後も利用できるようにする。

具体的な連携事業

事業名	庄内北部地域花き育苗施設利用拡大事業						
関係市町名	酒田市、庄内町						
事業内容	産地化の拡大・強化を図るため、庄内町が設置し、(株)庄内町種苗センターが指定管理者として運営している育苗施設について、広域で利用できるように調整する。						
期待される効果	花き育苗施設を広域で利用することにより、高品質かつ低価格で安定的な花き苗の供給が促進される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	花き苗の供給	→	→	→	→	→	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	0	0	0	0	0	0
	庄内町	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
育苗センターの利用 農家軒数	7軒			10軒			
役割分担の考え方	住民への周知は酒田市が行う。						

相談事業の拡大
形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の住民の安全・安心を確保するため、甲が実施する法律相談および消費生活相談について、甲および乙の住民を対象に実施する。
甲（酒田市）の役割	甲が実施する法律相談および消費生活相談について、乙の住民も利用できるようにするとともに、取り組みの調整を図る。
乙（連携町）の役割	乙の住民に対して、甲の実施する法律相談および消費生活相談の利用に関する周知を行う。

具体的な連携事業

事業名	相談事業の拡大						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	弁護士による無料相談会並びに市民生活相談員および消費生活相談員による相談事業について、住民が相談を受けられるようにするとともに、その情報提供を行う。						
期待される効果	圏域内住民がトラブルに巻き込まれたり、問題に直面した際の相談機会が拡充され、より安心して生活できる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	広域的な事業の実施	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	2,094	2,030	2,030	2,030	2,030	2,030
	三川町	0	0	0	0	0	0
	庄内町	0	0	0	0	0	0
	遊佐町	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（H30）			目標値（R6）			
市民相談件数、消費生活相談件数	①市民相談件数478件 ②消費生活相談件数767件			①市民相談件数480件 ②消費生活相談件数770件			
役割分担の考え方	酒田市は、各町との連絡、調整を担当する。 住民への周知は、各市町がそれぞれ行う。						

男女共同参画推進センターの広域利用

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の男女共同参画社会の形成を促進するため、甲が設置する酒田市男女共同参画推進センターについて、甲および乙の住民を対象に事業を実施する。
甲（酒田市）の役割	酒田市男女共同参画推進センターで実施する事業について、乙の住民も利用できるようにするとともに、取り組みの調整を図る。
乙（連携町）の役割	乙の住民に対して、酒田市男女共同参画推進センターの利用に関する周知を行う。

具体的な連携事業

事業名	酒田市男女共同参画推進センターの機能拡充事業						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	酒田市男女共同参画推進センターで実施する各種講座や相談対応等について、住民が参加・利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。						
期待される効果	男女共同参画社会の実現に資する。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	広域的な事業の実施	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	1,044	1,006	1,006	1,006	1,006	1,006
	三川町	0	0	0	0	0	0
	庄内町	0	0	0	0	0	0
	遊佐町	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値 (H30)			目標値 (R6)			
ウイズ相談受付件数	42件			45件			
役割分担の考え方	酒田市は、各町との連絡・調整を担当する。 住民への情報提供は、各市町がそれぞれ行う。						

ボランティア・公益活動センターの広域利用

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の公益活動団体の活動を促進するため、甲が設置する酒田市ボランティア・公益活動センターについて、甲および乙の住民を対象に事業を実施する。
甲（酒田市）の役割	酒田市ボランティア・公益活動センターで実施する事業について、乙の住民も利用できるようにするとともに、取り組みの調整を図る。
乙（連携町）の役割	乙の住民に対して、酒田市ボランティア・公益活動センターの利用に関する周知を行う。

具体的な連携事業

事業名	酒田市ボランティア・公益活動センターの機能拡充事業						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	酒田市ボランティア・公益活動センターが実施する情報発信や相談業務について、住民が参加・利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。						
期待される効果	公益活動団体の情報共有が図られ、協働のまちづくりが推進される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	広域的な事業の実施	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	9,140	9,300	9,300	9,300	9,300	9,300
	三川町	0	0	0	0	0	0
	庄内町	0	0	0	0	0	0
	遊佐町	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（H30）			目標値（R6）			
センターへの相談件数、研修会参加者数	①センターへの相談件数 627件 ②研修会参加者数 234人			①センターへの相談件数 700件 ②研修会参加者数 270人			
役割分担の考え方	酒田市は、各町との連絡、調整を担当する。 住民への情報提供は、各市町がそれぞれ行う。						

国際交流サロンの広域利用

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の外国出身者が暮らしやすい環境づくりを進めるため、甲が設置する酒田市国際交流サロンについて、甲および乙の住民を対象に事業を実施する。
甲（酒田市）の役割	酒田市国際交流サロンで実施する事業について、乙の住民も利用できるようにするとともに、取り組みの調整を図る。
乙（連携町）の役割	乙の住民に対して、酒田市国際交流サロンの利用に関する周知を行う。

具体的な連携事業

事業名	酒田市国際交流サロンの機能拡充事業						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	酒田市国際交流サロンで実施する各種イベント等について、住民が利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。						
期待される効果	外国出身者が暮らしやすい環境づくりが推進される。また、住民の国際理解・国際交流の促進が図られる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	広域的な事業の実施	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	1,689	1,625	1,625	1,625	1,625	1,625
	三川町	0	0	0	0	0	0
	庄内町	0	0	0	0	0	0
	遊佐町	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
各種イベント等の実施回数	3回			4回			
役割分担の考え方	酒田市は、各町との連絡・調整を担当する。 住民への情報提供は、各市町がそれぞれ行う。						

森林環境の保全
形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の森林における松くい虫の被害を防止するため、当該被害に対する防除体制の確立を図り、必要に応じて連携した被害調査および防除対策を行う。
甲（酒田市）の役割	甲の関係住民と連携を図りながら、乙と松くい虫被害および防除に関する情報交換を行うとともに、必要に応じて、乙と協調して松くい虫の被害調査および防除対策を行う。
乙（連携町）の役割	乙の関係住民と連携を図りながら、甲と松くい虫被害および防除に関する情報交換を行うとともに、必要に応じて、甲と協調して松くい虫の被害調査および防除対策を行う。

具体的な連携事業

事業名	森林病虫害等被害対策事業						
関係市町名	酒田市、遊佐町						
事業内容	両市町が連携を図り、松くい虫被害の防除を実施する。						
期待される効果	両市町が連携を図り、松くい虫被害の防除を行うことで、防風や飛砂防備等の公益的機能を持つ海岸砂丘林の保全が図られる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目		R2	R3	R4	R5	R6
	被害状況現地調査		➡	➡	➡	➡	➡
	対策調整会議		➡	➡	➡	➡	➡
	対策事業実施		➡	➡	➡	➡	➡
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	49,284	48,253	48,253	48,253	48,253	48,253
	遊佐町	33,880	32,050	32,050	32,050	32,050	32,050
活用を想定する補助制度	森林施業支援事業交付金（国5/10、県2/10）						
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
被害材積量	12,443m ³			6,300m ³			
役割分担の考え方	酒田市は、遊佐町および関係機関・団体との連絡調整を担当する。 対策事業費については、両市町それぞれが負担する。						

消防防災・災害対応体制の充実

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の消防防災体制および災害発生時の対応充実を図るため、圏域内で情報共有しながら、災害発生時に、その被災を最小限に抑えるとともに、避難者支援の充実に取り組む。
甲（酒田市）の役割	甲は関係団体と連携を図りながら、乙と連携して情報の共有化に努めるとともに、災害発生時には乙と連携して災害対応と避難者等の支援を行う。
乙（連携町）の役割	乙の関係団体と連携を図りながら、甲と連携して情報の共有化に努めるとともに、災害発生時には甲と連携して災害対応と避難者等の支援を行う。

具体的な連携事業

事業名	消防防災・災害対応体制の充実						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	関係市町の情報共有、連携強化のための組織を設置するとともに、災害備蓄、災害対応資機材の計画的整備や広域避難を推進する。						
期待される効果	情報共有しながら、災害発生時に、その被災を最小限に抑えるとともに、避難者支援の充実が図られる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	情報交換会等の実施	➡	➡	➡	➡	➡	
	消防防災・災害対応体制の充実	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	12,563	7,524	7,524	7,524	7,524	7,524
	三川町	2,004	500	500	500	500	500
	庄内町	398	413	413	413	413	413
	遊佐町	600	800	800	800	800	800
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
情報交換会開催数	年1回			年1回			
役割分担の考え方	各市町は、情報交換会等で得た情報を活用して、避難所等に物品の整備を行う。						

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

道路・鉄道等インフラ整備の推進

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の住民の利便性や物流機能の向上を図るため、道路や鉄道の交通アクセスの確保と強化等、圏域のネットワーク化に繋がる交通網の整備を推進する。
甲（酒田市）の役割	国道等の高規格化の推進等、交通機能の整備促進に係る関係機関への働きかけや早期実現に向けた活動を展開し、圏域の交通インフラ整備を推進するうえで、中心的な役割を担う。
乙（連携町）の役割	甲と連携し、国道等の高規格化の推進等、交通機能の整備促進に係る関係機関への働きかけや早期実現に向けた活動を展開し、圏域の交通インフラ整備をともに推進する。

具体的な連携事業

事業名	国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備促進事業						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	同盟会への参画を通じて整備促進に向けた各種活動を展開する。						
期待される効果	関係各方面への要望活動や促進大会の開催等により、整備実現（完成）に向けた前進が期待できる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	負担金支出	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	200	200	200	200	200	200
	三川町	4	4	4	4	4	4
	庄内町	0	0	0	0	0	0
	遊佐町	4	4	4	4	4	4
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（H30）			目標値（R6）			
供用率 (供用延長/計画 延長50km)	42.60%			61.4%			
役割分担の考え方	同盟会の運営は、新庄市が事務局として連絡・調整を担当し、経費は各市町が負担する。						

道路・鉄道等インフラ整備の推進

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の住民の利便性や物流機能の向上を図るため、道路や鉄道の交通アクセスの確保と強化等、圏域のネットワーク化に繋がる交通網の整備を推進する。
甲（酒田市）の役割	国道等の高規格化の推進等、交通機能の整備促進に係る関係機関への働きかけや早期実現に向けた活動を展開し、圏域の交通インフラ整備を推進するうえで、中心的な役割を担う。
乙（連携町）の役割	甲と連携し、国道等の高規格化の推進等、交通機能の整備促進に係る関係機関への働きかけや早期実現に向けた活動を展開し、圏域の交通インフラ整備をともに推進する。

具体的な連携事業

事業名	山形新幹線庄内延伸促進事業						
関係市町名	酒田市、庄内町、遊佐町						
事業内容	陸羽西線高速化促進市町村連絡協議会への参画等を通じて山形新幹線の庄内延伸に向けた要望活動を展開する。						
期待される効果	関係各方面への要望活動の実施等により、山形新幹線の庄内延伸の実現が期待できる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	山形新幹線庄内延伸に係る要望活動	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	1,237	511	511	511	511	511
	庄内町	0	0	0	0	0	0
	遊佐町	63	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
山形新幹線庄内延伸の事業化に向けた要望活動	2回			2回			
役割分担の考え方	協議会の事務局は酒田市で担当し、各町との連絡・調整を行う。						

市町道ネットワークの向上

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の地域間ネットワークの安全な通行確保を図るため、甲乙間の市町道に係る橋梁等の現状を把握し、長寿命化に向けた修繕計画の策定および修繕工事を実施するとともに、除雪における路線交換等により、効率化および低コスト化を図る。
甲（酒田市）の役割	行政区域に跨る道路施設について、乙との協議調整を経て長寿命化修繕計画や除雪計画の策定を行い、安全な地域間ネットワーク確保のために計画的で効率的な維持管理を行う。
乙（連携町）の役割	行政区域に跨る道路施設について、甲との協議調整を経て長寿命化修繕計画や除雪計画の策定を行い、安全な地域間ネットワーク確保のために計画的で効率的な維持管理を行う。

具体的な連携事業

事業名	地域間連絡道路の安全な通行確保と効率的な維持管理						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	地域間にある道路改良を行なうほか、橋りょうおよびトンネル等の道路施設を長寿命化するための計画を策定し、修繕工事を実施する。また、地域間道路における除雪では、路線交換等により効率化やコストの縮減に努める。						
期待される効果	地域間道路の恒久的な安全確保と除雪作業の効率化によるコストの縮減が図られる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	道路施設点検・修繕計画策定	➡	➡				
	道路施設の新設・改良・修繕	➡	➡	➡	➡	➡	
	除雪作業の効率化	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	43,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
	三川町	0	0	0	0	0	0
	庄内町	0	0	0	0	0	0
	遊佐町	5,000	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度	社会資本整備総合交付金 社会資本整備総合交付金（防災・安全）						
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
事業実施数	4事業			5事業			
役割分担の考え方	酒田市は、各町との連絡、調整を担当する。 各市町はそれぞれ管理する道路施設を適正かつ効率的に維持管理する。 各市町は除雪の効率化かつコスト縮減を図るために路線交換の可能性を検討する。						

地域公共交通ネットワークの構築

形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の住民の日常生活の利便性の向上および交流人口の拡大を図るため、新たな地域公共交通の導入の検討を行う。
甲（酒田市）の役割	乙および関係機関と連携を図りながら、住民の日常生活の移動手段の確保および交流人口の拡大を図るため、地域公共交通網の拡充に向けた検討を行う。
乙（連携町）の役割	甲および関係機関と連携を図りながら、住民の日常生活の移動手段の確保および交流人口の拡大を図るため、地域公共交通網の拡充に向けた検討を行う。

具体的な連携事業

事業名	地域公共交通の導入検討						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	地域住民の移動手段について、公共交通の視点から事業化を検討する。						
期待される効果	地域住民の通勤、通学、通院、買い物等の利便性の向上、交流人口の拡大に伴う経済効果の波及が期待できる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	事業実施の検討	→	→	→	→	→	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	0	0	0	0	0	0
	三川町	0	0	0	0	0	0
	庄内町	0	0	0	0	0	0
	遊佐町	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（H30）			目標値（R6）			
新たな地域公共交通の具体化本数	0本			3本			
役割分担の考え方	新たな地域公共交通の導入を検討する各市町は、関係市町および運行事業者との調整を行う。						

婚活支援事業の拡大
形成協定の内容

取り組みの内容	圏域内の若者の成婚を促進するため、男女の出会いの場の創出、成婚化に向けての各種方策に甲および乙が連携して取り組む。
甲（酒田市）の役割	乙と連携し、効果的な事業の企画、運営を行うとともに、取り組みの調整を図る。 甲の行う婚活支援事業を乙の住民や団体等も利用できるようにするとともに、甲の住民に対して、乙の婚活支援事業に関する周知を行う。
乙（連携町）の役割	甲と連携し、効果的な事業の企画、運営を行う。 乙の行う婚活支援事業を甲の住民や団体等も利用できるようにするとともに、乙の住民に対して、甲の婚活支援事業に関する周知を行う。

具体的な連携事業

事業名	婚活支援事業の拡大						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	男女の出会いの場、婚活イベント等を広域で取り組む。						
期待される効果	婚活支援事業の広域展開が可能となり、出会いの機会の増加および成婚率の向上が期待できる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	婚活イベント等の実施	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	3,848	2,591	2,591	2,591	2,591	2,591
	三川町	235	235	235	235	235	235
	庄内町	0	0	0	0	0	0
	遊佐町	2,088	1,748	1,748	1,748	1,748	1,748
活用を想定する補助制度	なし						
成果指標KPI	現状値 (H30)			目標値 (R6)			
婚活支援事業での成婚件数 (圏域)	31件			35件			
役割分担の考え方	酒田市は、各町および関係機関との連絡調整を行う。 住民への情報提供は、各市町がそれぞれ行う。						

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

圏域内市町職員等の交流

合同研修および人事交流の実施

38

形成協定の内容

取り組みの内容	職員の広域的視点でのマネジメント能力の強化および人的ネットワークの構築を図るため、圏域内における人事交流を行うとともに、必要に応じ、地域の活性化等、圏域内における共通の課題をテーマとした合同研修を行う。
甲（酒田市）の役割	乙と連携して、市町間の人的交流などの取り組みを行い、その調整を図る。
乙（連携町）の役割	甲と連携して、市町間の人的交流などの取り組みを行う。

具体的な連携事業

事業名	合同研修・人事交流事業						
関係市町名	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町						
事業内容	自治体間による人事交流および合同研修を実施する。						
期待される効果	職員の広域的視点でのマネジメント能力の強化および人的ネットワークの構築が図られる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	
	人事交流の実施	➡	➡	➡	➡	➡	
	合同研修の実施	➡	➡	➡	➡	➡	
事業費見込 (千円)	市町	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	酒田市	308	539	416	416	539	416
	三川町	9	9	9	9	9	9
	庄内町	0	47	47	47	47	47
	遊佐町	5	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度							
成果指標KPI	現状値（R1）			目標値（R6）			
①各町との人事交流②合同研修アンケートの総合評価（5段階評価）	①4人 ②4.7			①6人 ②4.0			
役割分担の考え方	酒田市、三川町、庄内町、遊佐町が合同で研修の企画・運営を行う。 酒田市は、事業実施に係る事務局を担い、各町と連絡、調整する。						

6 定住自立圏形成協定一覧

政策分野	分類	項目No.	連携する取り組み項目	取り組みの内容 (甲：酒田市、乙：周辺町)	三川	庄内	遊佐	連携事業名
生活機能の強化	医療	1	休日および夜間における診療体制の充実	圏域内の休日および夜間の診療体制確保のため、甲が開設する「酒田市休日診療所」および日本海総合病院において酒田地区医師会の協力により実施する「平日夜間診療事業」の維持継続とともに、圏域内の住民に対し、これら初期救急医療施設の適正な利用に関する普及啓発を図る。	○	○	○	休日および夜間における診療体制の充実
	医療	2	地域救急医療体制の充実支援	圏域内の救急医療体制の充実強化を図るため、関係機関・団体の連携促進や救急車の適正利用に関する普及啓発等を図る。	-	○	○	地域救急医療体制の充実支援
	医療	3	医療機関の連携、ネットワーク化（ちよukaiネット）	圏域内の住民に対し、一貫した治療方針のもと切れ目のない医療を提供する医療連携体制を構築するため、関係医療機関による医療情報の共有を図る。	○	○	○	医療機関の連携、ネットワーク化（ちよukaiネット） 調剤情報の共有、ネットワーク化（ちよukaiネット）
	医療	4	看護師確保対策	圏域内の看護師を確保するため、甲および乙が連携して看護師確保に向けた取り組みを行うとともに、甲が設置する酒田看護専門学校からの圏域医療機関への定着増等に向けた取り組みを行う。	○	○	○	看護師確保対策
	医療	5	がん検診受診率向上に向けた取り組みの拡大	圏域内の住民の生命・健康を守るため、甲および乙が連携して、がんの早期発見・早期治療に有効な検診の啓発活動を推進し、職域への受診向上を働きかけるなど、受診率の向上に向けた取り組みを行う。	-	○	○	がん検診受診率向上に向けた取り組みの拡大
	福祉	6	児童センター、子育て支援センターの相互利用	圏域内の子育て環境の充実を図るため、甲が設置する児童センター並びに甲および乙が設置する子育て支援センターについて、甲および乙の住民を対象に事業を展開する。	○	○	○	児童センター、子育て支援センターの相互利用
	福祉	7	病児・病後児保育施設の相互（広域）利用	圏域内の子育て環境の充実を図るため、圏域内に設置されている病児・病後児保育施設について、甲および乙の住民を対象に事業を展開する。	○（相互）	○（相互）	○（広域）	病児・病後児保育施設の相互（広域）利用
	福祉	8	ファミリーサポートセンターの相互（広域）利用	圏域内の子育て支援の充実を図るため、圏域内のファミリーサポートセンターについて、甲および乙の住民を対象に事業を展開する。	○（広域）	○（相互）	○（広域）	ファミリーサポートセンターの相互（広域）利用
	福祉	9	介護関係職員の連携強化	圏域内の介護職員のケアマネジメント能力の強化および相互協力体制の構築を図るため、介護関係従事者を対象とした研修会等を実施する。	-	○	○	包括的継続的ケアマネジメント事業
	福祉	10	地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）利用支援	圏域内の認知症高齢者の支援の充実を図るため、圏域内にある認知症対応型共同生活介護サービス事業所（認知症高齢者グループホーム）の利用について、甲および乙の住民が相互に利用できるよう調整を行い、認知症に係る介護事業の充実を図る。	○	○	○	地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）広域利用事業
	教育	11	スポーツ振興の推進	圏域内のスポーツの振興を図るため、甲および乙が実施しているスポーツイベント、スポーツ教室（以下、「スポーツイベント等」という。）やスポーツ活動の支援について、甲および乙が連携して取り組む。	○	○	○	スポーツ少年団の大会等の開催および県駅伝酒田飽海実行委員会への支援 スポーツ大会の開催および支援事業
	教育	12	文化振興事業の推進	圏域内の文化振興を図るため、甲が実施する体験型ワークショップ等に圏域住民が参加できるようにするとともに、圏域内のホールで実施する自主事業について広域的な広報活動をする。	○	○	○	文化芸術活動への参加の推進
	教育	13	生涯学習・社会教育事業の相互利用の推進	圏域内の住民がより多様な学習機会を得られるよう、甲および乙が実施しているイベント、教室、各種講座（以下「各種講座等」という。）について、甲および乙の住民を対象に事業を実施する。	○	○	○	生涯学習・社会教育事業の相互利用事業
	教育	14	文化財の保護および利活用の推進	圏域内の文化財・史跡等の適切な保護および有効活用を図るため、多様な文化遺産の情報を相互に周知するとともに、圏域全体での有形文化財の展示や無形文化財の公演など広域連携を図る。	○	○	○	文化財の保護および利活用推進事業
	産業	15	圏域観光物産事業の推進	圏域内の観光物産振興のため、甲および乙が連携して観光資源の掘り起こし、PRや情報発信の強化を図るとともに、圏域の観光物産振興をより一層強化する。	-	○	○	観光振興・物産振興事業 北庄内観光地域通訳案内士養成事業 鳥海山・飛鳥ジオパーク推進事業 酒の酒田の酒まつり事業 家族の時間づくりプロジェクト

政策分野	分類	項目No	連携する取り組み項目	取り組みの内容 (甲：酒田市、乙：周辺町)	三川	庄内	遊佐	連携事業名
生活機能の強化	産業	16	企業振興、企業誘致等の推進	圏域内の企業振興、圏域内への企業誘致等により地域経済の活性化を図るため、甲および乙が連携して圏域内の企業PRや優良企業の誘致に向けた取り組みを行う。	○	○	○	企業誘致活動の共同実施 企業振興の推進
	産業	17	創業の促進	圏域内の地域経済の活性化および雇用の創出を図るため、甲および乙が商工会議所、商工会と連携し、創業塾の開催等の創業を支援する取り組みを行う。	-	-	○	創業塾の開催
	産業	18	高校生の地元定着の促進	圏域内の高校生の地元定着を図るため、甲および乙が高等学校と連携し、高校生に対する地元企業のPRを行う。	-	○	○	地元企業情報等の提供
	産業	19	育苗施設の広域利用	圏域内の産地化の拡大・強化を図るため、育苗施設について、甲乙協議の上、圏域全体で利用できるように調整し利用拡大を図る。	-	○	-	庄内北部地域花き育苗施設利用拡大事業
	その他	20	相談事業の拡大	圏域内の住民の安全・安心を確保するため、甲が実施する法律相談および消費生活相談について、甲および乙の住民を対象に実施する。	○	○	○	相談事業の拡大
	その他	21	男女共同参画推進センターの広域利用	圏域内の男女共同参画社会の形成を促進するため、甲が設置する酒田市男女共同参画推進センターについて、甲および乙の住民を対象に事業を実施する。	○	○	○	酒田市男女共同参画センターの機能拡充事業
	その他	22	ボランティア・公益活動センターの広域利用	圏域内の公益活動団体の活動を促進するため、甲が設置する酒田市ボランティア・公益活動センターについて、甲および乙の住民を対象に事業を実施する。	○	○	○	酒田市ボランティア・公益活動センターの機能拡充事業
	その他	23	国際交流サロンの広域利用	圏域内の外国出身者が暮らしやすい環境づくりを進めるため、甲が設置する酒田市国際交流サロンについて、甲および乙の住民を対象に事業を実施する。	○	○	○	酒田市国際交流サロンの機能拡充事業
	その他	24	森林環境の保全	圏域内の森林における松くい虫の被害を防止するため、当該被害に対する防除体制の確立を図り、必要に応じて連携した被害調査および防除対策を行う。	-	-	○	森林病害虫等被害対策事業
	その他	25	消防防災・災害対応体制の充実	圏域内の消防防災体制および災害発生時の対応充実を図るため、圏域内で情報共有しながら、災害発生時に、その被災を最小限に抑えるとともに、避難者支援の充実に取り組む。	○	○	○	消防防災・災害対応体制の充実
結びつきやネットワークの強化	インフラ	26	道路・鉄道等インフラ整備の推進	圏域内の住民の利便性や物流機能の向上を図るため、道路や鉄道の交通アクセスの確保と強化等、圏域のネットワーク化に繋がる交通網の整備を推進する。	○	○	○	国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備促進事業 山形新幹線庄内延伸促進事業
	インフラ	27	市町道ネットワークの向上	圏域内の地域間ネットワークの安全な通行確保を図るため、甲乙間の市町道に係る橋梁等の現状を把握し、長寿命化に向けた修繕計画の策定および修繕工事を実施するとともに、除雪における路線交換等により、効率化および低コスト化を図る。	○	○	○	地域間連絡道路の安全な通行確保と効率的な維持管理
	地域公共交通	28	地域公共交通ネットワークの構築	圏域内の住民の日常生活の利便性の向上および交流人口の拡大を図るため、新たな地域公共交通の導入の検討を行う。	○	○	○	地域公共交通の導入検討
	その他	29	婚活支援事業の拡大	圏域内の若者の成婚を促進するため、男女の出会いの場の創出、成婚化に向けての各種方策に甲および乙が連携して取り組む。	○	○	○	婚活支援事業の拡大
シメ城ンマトネ	圏域内市町職員等の交流・研修	30	合同研修および人事交流の実施	職員の広域的視点でのマネジメント能力の強化および人的ネットワークの構築を図るため、圏域内における人事交流を行うとともに、必要に応じ、地域の活性化等、圏域内における共通の課題をテーマとした合同研修を行う。	○	○	○	合同研修・人事交流事業